

・未来についての内容が黙示録である。真の神様以外は、未来を語ることは出来ない。私達は命をかける価値について理解出来るように。人間の問題の本当の原因について聖書に書いてある。人間の問題は創3章から始まった。創3章を起こしたことが悪魔である。悪魔を滅ぼす為に神様が人間になられてこの世にこられた。

1.福音宣教	2.災いか宣教か	3.いのちを懸ける使命
▲福音を信じて伝える宣教を味わう。 1)創 3:15(彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく。) ・悪魔の頭を打ち砕くのはキリスト ・アベル、セツ、ノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、ダビデ、ペテロ、パウロ、初代教会、宗教改革者(ルター)、タラッパン伝道運動が契約を回復した。  ○ガラ 5:1(キリストは、自由を得させるために、私達を解放して下さいました)ーキリストは奴隷から解放をした。 2)コロ 3:11(キリストがすべてであり、すべてのうちにおられるのです。) 3)使徒 1:1-8+祈り -契約を握って祈ると救いが成される -福音を信じると癒される(使 3:1-12) ○使 20:24(神の恵みの福音をあかしする任務を果たし終えることができるなら、私のいのちは少しも惜しいとは思いません。) -福音の為には私の命は惜しくない ○使 27:24-サミットを生かすように。	▲契約を伝えていくことは祝福であるが、伝道をしないと災いが起こる。 1)黙示 6:1(私は見た。小羊が七つの封印の一つを解いたとき、四つの生き物の一つが、雷のような声で「来なさい。」と言うのを私は聞いた。) 2)白い馬(勝利)ー黙示 6:2(私は見た。見よ。白い馬であった。それに乗っている者は弓を持っていた。彼は冠を与えられ、勝利の上にさらに勝利を得ようとして出て行った。)(マタイ 24 章、マルコ 13 章、ルカ 21 章) ・イエス様が、再臨をする時には白い馬に乗ってくる。 ・黙示録 19:11 イエス様が勝利者としてこの世に再び来られる。 ・教会が伝道・宣教して勝利をするようになる。 3)赤い馬(戦争)ー黙示 6:4(別の、火のように赤い馬が出て来た。これに乗っている者は、地上から平和を奪い取ることが許された。人々が、互いに殺し合うようになるためであった。また、彼に大きな剣が与えられた。) ・赤い馬が来ることは、戦争が起こること。 ・伝道・宣教をしないから、戦争や内戦が起こるようになる。 4)黒い馬(地震、飢饉)ー黙示 6:5(小羊が第三の封印を解いたとき、私は、第三の生き物が、「来なさい。」と言うのを聞いた。私は見た。見よ。黒い馬であった。これに乗っている者は量りを手を持っていた。) ・黒い馬として飢饉や地震が起こるようになる。 ・日本で伝道・宣教する限りは、地震や飢饉の災いが起こることがない。 5)青ざめた馬(伝染病)ー黙示 6:8(私は見た。見よ。青ざめた馬であった。これに乗っている者の名は死といい、そのあとにはハデスがつき従った。彼らに地上の四分の一を剣とききんと死病と地上の獣によって殺す権威が与えられた。) ・青ざめた馬として伝染病が起こるようになり、地球の4分の1が亡くなるー伝染病で4分の1が亡くなることはこれから未来に起きる事。 6)黙示 6:12-14(私は見た。小羊が第六の封印を解いたとき、大きな地震が起こった。そして、太陽は毛の荒布のように黒くなり、月の全面が血のようになった。そして天の星が地上に落ちた。それは、いちじくが、大風に揺られて、青い実を振り落とすようであった。天は、巻き物が巻かれるように消えてなくなり、すべての山や島がその場所から移された。) ・星が落ちたり、月が血になるなどの宇宙的な災いが起こる。 ・伝道宣教をしないからこのような災いが起こる。 ・レムナント一人を育てることによって伝道・宣教がなされる。 7)マタイ 24:29-30(これらの日の苦難に続いてすぐに、太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。そのとき、人の子のしるしが天に現われます。すると、地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。) ・災いの中でも神の子どもは守られるが伝道・宣教に命をかけるように。	▲命を懸けるべき価値が伝道、宣教にある。 1)黙示 6:9(小羊が第五の封印を解いた時、私は、神のことばと、自分たちが立てたあかしとのために殺された人々のたましいが祭壇の下にいるのを見た。) ・伝道者の魂が生きておられることを見た。 ・伝道・宣教の為の殉教は一番喜ばれること。 ○証人=Martus(殉教者) ・殉教精神を持って歩むように。 ○キリストは十字架につけられなければならない ・殉教精神で決断をすれば終わるようになる。 ・主の為に私の命も捧げることが出来るように。 ○マタイ 16:18(あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。) ・悪魔は勝つ事が出来ないので恐れないように。 2)マタイ 16:24(イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」) ・キリストについていく人は自分の十字架を負う 3)ローマ 11:25(それは、あなたがたが自分で自分を賢いと思うことがないようにするためです。その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなになったのは異邦人の完成のなる時までであり) ・キリストを信じるべき人が信じると終わりの日 ・私達は、殉教精神で伝道するように。 4)黙 6:11ー救われる十分な数に満たされるように。 5)マタイ 24:14(この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。) ・信じるべき人が、信じることが出来るように ○黙示 6:15-17(地上の王、高官、千人隊長、金持ち、勇者、あらゆる奴隷と自由人が、ほら穴と山の岩間に隠れ、山や岩に向かってこう言った。) ・権力者が苦しくなっていく。 ▲結論ー7,7,7お祈りー殉教精神になるように祈る。 ・全て主によって癒されることが出来るように。

現場地教会(2025 年 10 月 5 日～2025 年 10 月 11 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「いのちを懸ける価値」(黙 6:1-8)

【讚美】 393 我らの戦い血によらず

【祈り】

①教会の祈りの課題

※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と 5 つの力が与えられるように。

②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

祈り文

主の恵みに感謝します。 この終末の時代、勝利者キリスト、真の王なるキリスト（女の子孫）が、悪魔の頭を打ち砕き、その仕業を打ち壊したことを信じます。創世記 3 章 15 節を、アベル→セツ→ノア→アブラハム→ダビデ→イエスキリスト→初代教会→Martin Luther（マルチン・ルター）→そして私達福音宣教教会に契約のバトンとして受け継いだ恵みに感謝します。

キリストの系図の継承者として、悪魔、罪、死、地獄、律法から全て解放された恵みに感謝いたします。キリストが自由を得させ、完全解放であり、すべてであり、キリストの中に全てがある事を信じます。

この黙示録の赤い馬、黒い馬、青ざめた馬が現れる事により戦争、紛争、内戦、地震、飢饉、災害、物価高騰、伝染病、死病、天変地異の滅びが預言されています。しかし白い馬に現わされたキリストを掴んだ教会、そして私たちが、勝利の上にさらに勝利を約束されている事に感謝いたします。

私たちが、福音宣教に命を懸ける時、この災いには何一つ関係がなく、天軍天使を通して守られ、常に勝利し、逆にこの災いを私たちが食い止める事ができる恵みに感謝します。 “災いか宣教か”この終末の時代、私たちに、いのちを懸ける価値、使命を大きく与えてください。” No Cross No Crown” の殉教精神を私に与えてください。自分を捨て、自分の十字架を負い、キリストについていく信仰を回復させてください。 私たちが、死の力、地獄の力、ハデスの力から勝利し、キリストと言う岩の上に福音宣教教会が立てられ、御座の力が与えられる事を確信します。 やぐら、旅程、道しるべの祈りを通して、この御国の福音は日本、世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ると言うみことば通り、私を伝道、宣教の為に用いて下さい。

主任牧師に、聖霊充滿と 5 つの力が与えられ、100 ヶ所の地教会運動、楠 RUTC にレムナントをサミットにする為の訓練施設、また教会堂建築がなされますように。日本伝道集会を通して多くの弟子が力を受けますように。その前の特別早天礼拝を通して、恵みある集会として祝福してください。

病の中にある方には、癒しが与えられますように。

神様がくださった契約を握り、出会う全ての人々、出来事、働きの中で福音の証人としてください。 イエスキリストの御名によってお祈りします。

(お知らせ)

- ① 10 月 7 日～8 日 日本伝道集会, 9 月 29 日～10 月 7 日日本伝道集会の為の特別早天祈禱
- ② 来週は聖餐式を行います。各地教会は準備をお願いします。
- ③ 鈴木敦子長老の健康の回復の為に祈りをお願いします。

福音宣教教会

主管牧師：御国イザヤ

名古屋市中区栄 5 丁目 23-8 / tel: 052-238-6003

主日(日曜) 1 部礼拝 7:00 / 2 部礼拝 10:00 / 3 部礼拝 12:00